土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名	一級河川　太田川水系　貞岡川　砂防事業に伴う測量設計等業務委託
事　業　・　工　事　名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	BorNo.R2-BS-2	調査位置	広島県東広島市志和町別府　地内			北　緯	34° 28' 30.7341″
発注機関	広島県西部建設事務所　東広島支所	調査期間	令和2年12月 7日～ 令和2年12月10日			東　経	132° 37' 38.0622″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 296.43m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	4.00m	使用機種	試錐機	東邦地下工機　DO-C型			
			エンジン	ヤンマー　NF-110EK型		ポンプ	東邦地下工機　BG-3C型

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度（m）	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度（m）	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
	296.13	0.30		砂質土		暗褐	rd2		表土 ・最上位は腐植混じる黒褐の腐葉土 ・砂は細-中粒砂															
1	294.93	1.50		花崗岩		淡褐			黒雲母花崗岩弱風化岩(CL) ・岩質軟質化、採取試料は岩片-短柱状を呈すが脆く掌で圧潰可能 ・採取試料は土柱-短柱状			50以上	1.05 1.09	50 40			50 40	40						
2				花崗岩		淡褐			白亜紀後期黒雲母花崗岩(CM) ・GL-2.40m付近、及びGL-3.30-3.35m間、緩傾斜の節理で脆弱化し礫-岩片状を呈す ・節理面の一部は暗褐色に変色、黄灰色の膠着物ないし流入土砂が挟在 ・採取試料は岩片-短柱状、コア肌は粗面でハンマーの打撃では濁音を発する ・岩質はやや堅硬なるも水平-緩い斜状の節理が不規則に発達 ・岩相比較的均質な細粒黒雲母花崗岩			50以上	2.00	貫入不能			50 0	0						
3																								12/8
4	292.43	4.00																						12/9
5																								
6																								
7																								
8																								
9																								